

市長タウンミーティングを開催しました

第8回となります今回は「健康・医療」をテーマに市長が様々な世代の皆様のご意見やご提案を伺いました。

開催日時 令和6年6月9日(日)午前10時～11時30分

開催場所 所沢市役所大会議室

参加者 91名



市長コメント

市長に就任して8回目、令和6年度3回目となりますタウンミーティングを「健康・医療」をテーマに開催いたしました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「コロナウイルスワクチンについて」、「保健所について」、「不登校児の健康診断」、「難病について」など、様々なご意見・ご提案をいただきました。

いただきましたご意見・ご提案を今後の市政に活かして参りたいと考えております。有難うございました。

参加者の声

- 1 私は所沢市民ワクチン接種選択の権利を守る市民の会というものを作りまして、昨年末、議会へ請願を行いました。が、請願は却下されました。

この請願はコロナウイルスワクチンがどのくらい有効で、どのような効果があるのか、そういったちゃんとした検知が私達に公表されていないと思っており、どのくらいワクチンの効果があったのか、ワクチン後遺症の方がどのくらいいたのか、コロナウイルス感染症で亡くなった方はどのくらいいるのか、ワクチンで亡くなった方はどのくらいいるのか、そういうことを市民に公表するべきだというものです。

データについて、市民に開示していただきたいということが私の希望です。

- 2 自分の体験を言わせていただきたいです。私は入院したことがほとんどない人生を送ってきました。ところが4年前にですね、目がですね、非常に不思議な病気にかかりました。

ご存知の方がいらっしゃるかどうかわかりませんが、黄斑変性という名前の病気です。これは昨日まで視力が1.0で見た人が一気に何も見えなくなります。しかも両方の目ががそういう状態でした。

私の目の病気は難病になっていまして、欧米では第1位の失明率だそうです。こうなった後、なぜ自分はそういうものを経験しなくてはいけないのでしょうか。黄斑変性と認定されて、もう1年以上通っているところが、花小金井にある昭和病院というところなんです。

- 3 2回前のテーマ「産業振興」のときに市の情報発信について、話をしました。

市長への手紙でお返事いただいてまして、「ハインリッヒの法則」というタイトルで書いています。

簡単に話をすると、所沢市の情報発信の仕方が非常に良くないと私は申し上げていて、それを改善してほしいということです。

ハインリッヒの法則は、重大事故 1 件には中規模の事故が 29 件あって、小さな事故が 300 件あるというものですが、市のホームページを見ると、大変間違いが多いんです。

例えば、普通救命講習会について、電子申請の申し込みができますが、これは本人 1 人が対象なのに、乳幼児の名前と年齢を書きなさいとなっています。

また、まちづくりセンター条例のパブリックコメントがありました。記入できる文字数は 400 字ぐらいでしたが、実際に表示できるところは 35 文字しかありません。

健康・医療に関わることで、もしこのようなことが起こると本当に困ります。所沢市できちんとした対応をやっていたとしても、市民がわかるように情報発信をしてください。

- 4 市長の公約の一つの中に、中核市にして保健所を誘致しようというお話がございました。

それと、選挙の件ですが、期日前投票の投票所が 2 箇所しかないのは大変です。以前「高齢者」のテーマのときもそうでしたが、解消する方法として、巡回バスを走らせて、期日前投票は約 2 週間ぐらいだと思いますので、うまく調整をしていただいて、ぜひ期日前投票をスムーズに高齢者の方も配慮いただければと思っています。

- 5 小学校 2 年生と 4 年生の子どもがいる子育て世帯です。

医療費の子ども無償化はとても聞こえが良いと思いますが、私は反対ですね。

無料というのは一番怖いですが、というのは、職場は子育て世代のママさんが多いのですが、子どもがちょっと熱を出すだけで、無料だからすぐ病院、皮膚科も自分が欲しい薬を無料だから子どもに受診させて、休んでばかりです。

無料といっても窓口で払うのが無料なだけで、裏ではちゃんと財政を確保している訳ですが、私と子どもは健康で全く病院へ行っていません。税金や保険料を払って、何か自分が健康でいることが、損している気がします。

健康でいる人間がラッキーみたいな、そういうものを何かやってほしいと思います。意外に病院へ行かない方が健康ですよ。うちの子は生まれて10年も経っていませんが、病院へ行っていません。私、頑張っています所沢のために、ポイントみたいなものをお願いします。

- 6 コロナウイルスワクチンの続きみたいな内容ですが、コロナウイルスワクチンはかなり危険なワクチンであるという印象を受けました。さらに11月からレプリコンというワクチンで、従来の遺伝子操作プラス自己複製型ということで、これはかなり危険ですよと指摘する学者がいることを知りました。

2028年に感染症の病院ができるという前向きな話がありますがけれども、コロナウイルスワクチンのマイナス面についても検証してほしいと思います。

- 7 保健所のことについて、中核市として保健所を作ると約50億円の負担が生じると聞きました。市の借金にならないように進めてください。

- 8 障害者は健常者の方よりも5年早く後期高齢者医療を受けられるという決まりがあるようです。その後期高齢者医療を選択した方が得なのか、選択しない方が得なのかは、一概に言えず

市役所で確認しなければならないとのことでした。

市役所に行くことが面倒という人もいますので、こちらの方がお得ですよというものを書いて送っていただきたいと思っています。

- 9 私は病気にかかった場合、安心して病院に行けません。なぜかという未だにマスクを強制されるという話をよく聞くからです。

強制していないといっても、例えば職員の方が90%以上マスクをしている窓口というのは、実質的に強制していることだと思います。

普通に考えれば、新型コロナウイルス感染症はもう2類から5類に変わって1年以上経ちますし、あるいは新型コロナウイルス感染症の時期の前に遡れば、花粉症とか多い時期であっても、マスクをしていた人は3割ぐらいではないでしょうか。健康に関わるいろいろな講習を受けると、酸素をたくさん体に取り入れてくださいと言われます。しかし、あの顔の下半分を布あるいはプラスチックで覆っていても酸素は取り込めません。私はマスクをしたくないです、安心して病院にかかれません。それから、老人福祉施設で、私、自転車でちょっと窓から見るだけですが、施設内は全員マスクをしています。

所沢市は、早い段階から教育長が、子どもたちに学校でマスク積極的に外してほしい、顔の見える形で、音楽、語学の授業に差し障りもありますし、マスクを外してほしいということを積極的に呼びかけて、他の市町村からもかなり羨ましがられ、評価が高いところでした。

マスクをしていないと怖いという人の意見は通るのに、私はマスクをしている人たちがずっと揃っていると怖いという、私の意見は配慮しないですね。

ぜひ他の市町村からも注目され、羨ましがられている所沢市、

市の職員も「マスクを外して対応中」と早くから掲示していました。あのマスク、本来の意味で自己判断という呼びかけを強くしていただけないものかと思います。

10 小野塚市長が就任されて、中核市になれば所沢に保健所ができるということで安心しているところです。

ただし、保健所は何十億円というお金がかかるとお思いますので、できれば、県と折衝して補助金をいただけるよう、そういう面も考慮いただいて、作っていただきたいとお思います。

11 3月定例会にて、発達障害児のアウトリーチ支援事業の予算につきましては、ありがとうございます。ぜひ不登校でひきこもりの児童も家庭訪問によるアウトリーチをお願いしたいとお思います。

5月17日、NHKの放送で、不登校のために健康診断が受けられず、重症化した女性が登場されておりました。学業は後から取り戻せるのに、健康は取り戻せないと、非常に考えさせられる番組でございました。

不登校児の健康診断をぜひ進めていただきたいとお思いますし、家庭訪問が非常に大事だとお思いますのでよろしくお願ひします。

12 このたびのタウンミーティングのテーマの「健康・医療」ですが、医療に関しましては、私は難病の方に関わる事業で、狭山保健所に6年近く通って、関係性を持っている人間の1人でございます。

所沢市は声を上げることができない難病の方が埼玉県で一番多い市でございます。所沢市に保健所を作ってくださいということで、その方々も心待ちにしております。急ぐことなく着実に小野塚市長を信じている方がたくさんいるということをお胸に置いていただいて進めていただきたいとお思っております。

あと健康でございますが、健康に関して私はアバウトになるかもしれませんが所沢市が健康であってほしいと思っています。

所沢市の1人1人の市民を思う政治が健康でなければ、市民は健康を望んでも、健康になることは難しいと思っています。

たくさんの方の声を聞いて前に進んでいただく、そのことを期待している市民がたくさんいること、そして健康になる所沢市であることも期待している市民がたくさんいることを心のどこかに置いていただいで、小野塚市長も健康で市民の方も健康にしていただく意味で頑張ってください。

13 去年、ちょうど1年が過ぎましたが、市の福祉課の窓口での対応にちょっとがっかりしました。それを市長への手紙で書かせてもらいましたが、あまり窓口の方を責めるのではなくて、市全体の取り組みとして、もう少し適材適所とかも考えていただきたいと思っています。

去年、NHK教育テレビを見たのですが、「断らない」ある市役所の実践」という神奈川県座間市の取り組みを紹介した番組がありました。

それはたまたま福祉課の窓口からスタートし、1人の市民の困りごとを市役所全体で取り組む、あるいは市役所から町へ出て市全体で取り組むというお話でした。それを見て、とてもうらやましいと思いました。所沢市もそうであってほしいと思いました。

縦割り社会ではないですよ、横繋がりですよ。やっぱり横繋がりがとても大事だということ。情報交換、情報共有する。それぞれの専門性は必要かもしれませんが、やっぱり横に繋がるということいろいろなものが共有できると思います。所沢市もどんどん取り組んでほしいと思います。